



Handsome

Early Summer 2024 No.412

巻頭
記事

次年度会長・次年度県会長

次年度副会長・専務理事・理事・監事

次年度県専務理事候補・県出向理事候補・県出向監事候補

3月例会開催 交流会に参加して／3月例会を終えて

4月例会開催 4月例会を終えて

トライアスロン部長決定／ドリームランタンナイト／会員が敬い、愛する物、人、事
新入会員職場紹介／こんにちは赤ちゃん／編集後記

◆発行人:鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 中村 友紀 ◆編集責任者:担当副会長 住 真介 ◆制作・編集:第49期総務委員会 委員長 大江 史紀

永井次年度会長



この度、鳥取県西部中小企業青年中央会 第50期会長を拝命いたしました、永井拓未でございます。

重責を担うとともに、身の引き締まる思いでございます。

鳥取県西部青年中央会が設立50周年を迎えます。

「中央会でなくして誰が50年の歴史を刻めたでしょうか」

晴天の下開催されたセンバツ高校野球決勝戦、超満員の甲子園のアルプスには「苦勞なくして栄光なし」と書かれたタオルを部員たちが掲げていました。私も元高校球児。「不屈」と書き込んだユニフォームを泥だらけにして甲子園を夢見ました。

「苦勞なくして栄光なし」必死で夢を追いかけていた頃の自分を思い出し、またつい小策で利を求めてしまう今の自分を省みて、胸を打ちました。

50年の間歴代の会員が、熱意と情熱のこもった活動をしてこられた柱の上に現在の中央会は在ります。「中央会は寺子屋たれ」、「中央会は野武士たれ」と中央会の意気を先輩に教わりました。新入会員の当時は、ただただ先輩会員に従って活動していましたが、少しずつその言葉の意味が分かって来たような気がします。

中央会を「寺子屋」として、会員一人ひとりが学び、成長できる場を提供します。そして、会員一丸となって「野武士」のように、困難な状況にも果敢に挑戦してまいります。

今後とも、鳥取県西部中小企業青年中央会へのご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

足立次年度県会長



この度、鳥取県中小企業青年中央会 第50期会長にご承認をいただきました足立駿です。どうぞよろしくお願いいたします。

現在、第49期は県出向監事という立場で西部地区から出向し、県事業を始め、他地区の事業に携わらせていただく中で、会としてのスタンスや運営方法、事業構築の仕方等、大変多くの気づきや学びを東部・中部の会員皆様よりいただいております。当会が設立されてから現在に至るまで先輩方が築き上げてこられた伝統を踏襲し、また時代に沿った新たな試みを取り入れ、東部・中部の会員皆様と手を取り合い共に活動していく所存であります。

第37期森協会長よりバッジを頂いてから12年、真摯にそして本気で中央会活動に取り組んで参りました。時には本気で叱り、時には優しく支えてくださった先輩方、そして現在共に活動している会員皆様に恩返しできるよう精一杯活動してまいります。

来期は50期という節目を迎え、周年事業の準備が始まります。会員一丸となり周年事業が成功するよう次年度へ引き継いでまいります。OB会員様、関係各所の皆様にご理解とご協力をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

次年度 副会長・専務理事

【副会長】



山内 正樹 会員

有限会社サンユービルド 代表取締役
(平成26年7月入会)

平成27年度 副委員長
平成28年度 会員拡大プロジェクトリーダー
平成29年度 会員拡大担当理事
平成30年度 委員長
令和元年度 県出向理事
令和2年度 委員長
令和5年度 専務理事



仲佐 大志 会員

株式会社あしがる 代表取締役
(平成28年3月入会)

平成29年度 副委員長
令和2年度 委員長



安達 信彦 会員

株式会社平設計 設計課長
(平成29年2月入会)

平成30年度 副委員長
令和元年度 県出向理事
令和2年度 委員長
令和4年度 専務理事兼
会計担当理事
令和5年度 副会長



高岩 雄一 会員

有限会社いけまつ環境 代表取締役
(令和元年10月入会)

令和4年度 委員長
令和5年度 県出向理事



【専務理事】

中西 悠介 会員

株式会社LABO 工事部次長
(平成29年6月入会)

平成30年度 副委員長
令和2年度 委員長
令和3年度 県出向理事
令和4年度 県出向理事
令和5年度 会計担当理事

次年度理事

【理事】



高田 典宗 会員

有限会社高田 管理部長
(平成25年4月入会)

平成27年度 県出向理事
平成30年度 副委員長



新井 翔太 会員

サンイン・フーズ株式会社 営業部

(平成27年7月入会)

令和2年度 副委員長



山根 壮 会員

株式会社ヤマネ産機 常務取締役
(令和元年9月入会)

令和3年度 副委員長



田本 真大 会員

山陰酸素工業株式会社
出雲支店LPガス直売課課長

(令和2年7月入会)

令和4年度 副委員長



長谷川 恵一 会員

HASEGAWAテクニカ株式会社
(平成26年7月入会)

平成28年度 副委員長
令和3年度 県出向理事
令和4年度 副委員長
令和5年度 委員長

次年度監事・県専務理事候補・県出向理事候補・県出向監事候補

【監事】



高井 賢一 会員

株式会社AND ONE 代表取締役
(平成17年6月入会)

平成26年度 副委員長
平成28年度 委員長
平成29年度 県出向理事
平成30年度 副会長
令和2年度 副会長
令和3年度 監事
令和4年度 会長
令和5年度 直前会長

【監事】



住 真介 会員

住法律事務所 代表弁護士
(平成25年6月入会)

平成27年度 副委員長
令和元年度 委員長
令和2年度 県出向理事
令和3年度 専務理事兼
会計担当理事
令和5年度 副会長

【監事】



谷村 祐也 会員

美保テクノス株式会社 営業部主任
(令和元年6月入会)

令和2年度 副委員長
令和3年度 委員長
令和4年度 副会長
令和5年度 副会長

【県専務理事候補】



大江 史紀 会員

株式会社島津組
LIXIL不動産ショップ島津組部長
(令和3年7月入会)

令和4年度 副委員長
令和5年度 委員長

【県出向理事候補】



小坂 泰彦 会員

有限会社はなや 取締役
(平成28年12月入会)

令和元年度 副委員長
令和5年度 委員長

【県出向理事候補】



下村 英一 会員

山陰建設サービス株式会社
営業部 営業二課 課長
(平成29年12月入会)

令和元年度 副委員長
令和3年度 委員長
令和4年度 県出向理事

【県出向理事候補】



徳中 太慈 会員

大連 代表
(平成30年5月入会)

令和元年度 副委員長
令和3年度 県出向理事
令和5年度 委員長

【県出向監事候補】



恵比木 健 会員

株式会社松本油店 課長
(平成28年1月入会)

平成29年度 副委員長
平成30年度 委員長
令和元年度 専務理事
令和2年度 副会長
令和4年度 副会長
令和5年度 副会長

3月例会開催 ブランディングに繋がるSNS活用



令和6年3月18日、3月例会が米子市文化ホールにて行われた。担当は中央会発信委員会。一般の方や関係経済団体の方をお呼びしオープン例会として開催した。講演会で学んだ後に交流会が開催され、親睦を深めた。

講演会の開会にあたり中村会長は「日頃より当会の活動にご理解いただき有難うござ

います。今期は活動テーマを『貢献意識のある学びと発信を』としている。今回はたくさんの皆さんと一緒に学ぶことに感謝いたします。時間の許す限り皆様と交流を深めていきたい』と挨拶された。

続く委員長タイムでは敬愛委員会の徳中委員長が自身の企業紹介を行った。「以前はお店もスタッフも日曜しか休みがなかったが、今はお店が定休日なしでもスタッフは週休2日確保できるようになった。会の活動は自分の考え方や行動一つで良くなるし悪くもなる。一緒に活動してみたいと思っていただけたら幸いです」と述べられた。

長谷川委員長は趣旨説明で「SNSのアカウントを開設したが、『活用できていない』『フォロワーを増やしたい』『自社や製品のブランディングにつなげたい』といった方が今回の例会を通して今後のビジネスや活動



につなげていただきたい』と述べられた。

第1部の講演会ではフリーアナウンサーの田中友香理氏をお招きした。自身がInstagramを始めたきっかけやその内容、フォロワー数の推移など実体験を交えてご講演頂いた。「大切なのは閲覧者のための発信をすること。そのためには閲覧者が何を求めているかを第一に考えること、テーマを絞ること」と述べられた。

続く第2部のパネルディスカッションでは中央会のInstagramのフォロワーを増やすためには「いいね数だけではなく保存数も重要」「投稿する曜日や時間帯も考えて」など助言をいただいた。

第3部では同施設イベントホールに会場を移し、例会参加者で異業種交流会を行った。引き続き講師の田中氏も交流会に参加いただき、ブース出店した企業を1つ1つ回って企業アピールタイムも行っていた。西部現役会員を除く参加者は100名を超え、当会の所属企業の社員様やInstagramからの一般参加者など大勢の方々に当会の活動を周知できた有意義な例会となった。

(記事:古磯)



交流会に参加して



3月例会の第3部では、引き続きフリーアナウンサーの田中友香理氏をお迎えし、異業種交流会を開催しました。オープン例会であったため、一般の方と交流することができただけでなく、他委員会の会員の方とも交流を図ることができ、実りの多いものとなりました。高見県出向理事の名司会と田中先生の明るい掛け合いによりブース紹介も盛り上がり、担当委員会としては、無事成功で締めくくれたのではないかと思います。ブースでは私も(株)クラム様の糖度50%のとてもおいしいお芋を試食させていただき、大満足でした。今回のようなオープン例会を契機に会外の方に中央会を多く知っていただき、会員拡大に繋がると嬉しいです。

(記事:森下)



3月例会を終えて

今回の例会では「ブランディングに繋がるSNS活用」をテーマに例会を開催しました。10月事業では情報発信における「自身の特徴」を考える機会としましたが、今回は「手法」にスポットを当て、自社や自社製品を効果的に発信するための学びの機会になればと考えました。

そして、オープン例会という会員以外の方も参加していただける形式で例会を開催し、講演・パネルディスカッション・異業種交流会を通して、西部青年中央会がどのような活動をしているのか知っていただく機会となったと思います。

今回の学びや気づきが、会員の企業活動や当会の活動に活かされていくことを願っています。

中央会発信委員会 委員長 長谷川 恵一(HASEGAWAテクニカ株式会社)

4月例会開催 大山お地蔵さまプロジェクト



令和6年4月15日、米子市文化ホールにて4月例会が開催された。冒頭、中村会長の挨拶では「鳥取や美保関からも綺麗に見える大山は、山陰の中心であることが分かる。その大山で8年続いたお地蔵さまプロジェクトを皆で振り返りながら、来期10年目以降をどういった形でやっていくのかなど学びある例会にしていきたいと思います」と述べられた。続いて、第三子が誕生された田本会員、第一子が誕生された大谷会員へお祝いの贈呈が行われた。その後、臨時総会では次年度第50期会長、副会長、専務理事、理事、監事、県出向役員の承認の件について審議が行われた。奥森参与が議長を務める中、満場一致で可決承認され、臨時総会は閉会された。次に、第42回トライアスロン皆生大会のボランティア部長に松田会員、マラソン部長に中西会計担当理事、AS部長に

ルディスカッション、グループワークが行われた。まず初めに徳中委員長より趣旨説明として「今期はフェスティバルという形ではなく、例会という形で会員の理解と想いを共有する場面にしたい」と話された。第一部ではまずお地蔵さまフェスティバルの振り返り動画を視聴した。その後高塚OBにもご参加いただき、歴代の実行委員長をパネリストに迎えパネルディスカッションをおこなった。ファシリテーター徳中委員長、仲佐会員進行のもと、テーマに沿ってお地蔵さまプロジェクトの始まりの経緯や想いを拝聴した。大山で行うことの意味や清掃することの意義、大山に感謝をしたいという想いなど、継続事業を行う重要性を全員での共通認識とすることが出来た。第二部では会歴の近いグループでのグループワークを行い、第一部での学びを共有し、今後いろんな対策をしながらも楽しんで活動をしていくことを話した例会であった。



(記事:武良)

4月例会を終えて

この度の例会は、継続事業を中心となり作り上げてくださった歴代担当委員長、実行委員長の思いや当時の話を聞き、全会員で継続事業に対する気持ちを共有出来た実りある例会になったと思います。高塚OBにもご参加いただき、今後のさらなる発展に向けてのエールをいただきました。

来期以降も、会にとっても、地域の方々にとっても必要とされる事業をより良い形で開催していけるための学びの場になったと感じています。ご参加いただいたパネリストの皆様、会員の皆様、本当にありがとうございました。引き続き素晴らしい継続事業をみんなで作っていきましょう!!

敬愛委員会 委員長 徳中 太慈(大連 代表)

トライアスロン部長決定

松田ボランティア部長



この度、第42回全日本トライアスロン皆生大会のボランティア部の部長を拝命致しました松田です。今年は昨年と同規模での開催となるので、参加される選手、ボランティアの方のためにもボランティア部メンバーと協力して準備をしていきたいです。また、会歴の浅い会員にもボランティア部の活動をしっかりと伝え、マラソン部、AS部の会員ともしっかりと連携を取り、オール中央会で大会を盛り上げて行きたいです。宜しくお願い致します。

中西マラソン部長

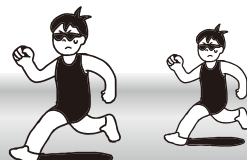


第42回全日本トライアスロン皆生大会のマラソン部長を拝命しました中西です。青年中央会の中でも歴史と伝統があるマラソン部長を務める事に、私自身も少々萎縮しております。住直前部長からしっかり引き継ぎ、第43回にしっかり繋げていきたいです。会員の皆様に備品洗い等をお願いする事もありますが、その時はお力添えをいただければと思います。各部でしっかりと連携を行い、オール中央会で当日を迎えましょう!

仲佐AS部長



昨年に引き続き今期第42回全日本トライアスロン皆生大会AS部の部長をさせていただく事となりました。昨年は新型コロナウイルスの影響もあり、私自身も当日参加出来なくなりAS部の皆さんにご迷惑をお掛けしました。今年も暑くなることが予想されますが、しっかり選手のサポートが出来る様に、そしてエイドステーションに参加される皆さんが安全に楽しく運営出来るように昨年のリベンジとして精一杯活動したいと思います。



米子

ドリームランタンナイト

—わたしの夢でみんなの星空を—

2024/5/25 sat.

50th 感謝と邂逅し

時間

15:00~20:30

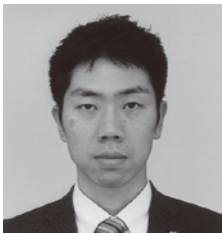
会場

湊山公園自由広場

一人では描けない星空。私たちだけでも描けない星空。私たちが描きたい星空は地域の人々と共に描く星空です。この星空がこの地域にとって特別な景色になる事を願って…。

会員が敬い、愛する 物、人、事

中央会発信委員会 佐々木 崇
(株式会社鳥取銀行 安来支店 支店長)



私が敬愛する人は、私が銀行に入行して初めて渉外係となった時の直属の上司です。ちなみに渉外係は、個人や法人のお客様を訪問し預金や貸出金などの取引推進を図る係で、支店の目標達成に大きな役割を担っています。

20年近く前の話ですが、年度末間近に●●項目が目標未達であったため、店周活動(夜間の営業)を3人(上司・私・後輩)で行うことになり、その際に上司から「●●が獲れるまで店に帰ってこんでいいぞ!」と言われました。「いやいや無理で

しょ…」と後輩と愚痴りながら出発したことを覚えています。私と後輩はそれぞれ仲の良いお客様の所へお願い営業するのですが結局坊主で帰店。自分も後輩もさすがに上司も無理だろうと思っていたのですが、なんと獲得しており大変驚きました。今思えば部下にそこまで言って、自分が手ぶらで帰れないという強い気持ちがあったのでしょうか(たぶん笑)。口だけでなく行動で示せる上司って格好いいなと感じた出来事でした。

新入会員職場紹介

敬愛委員会
大谷 健太(株式会社西米商事)

敬愛委員会所属の大谷健太です。私が所属しております西米商事について、紹介させていただきます。

弊社は、昭和48年の創業当初より鳥取県西部地域に根差した不動産業者として、事業を行ってまいりました。事業内容としましては、宅地開発分譲、不動産売買仲介斡旋、不動産賃貸事業、賃貸仲介斡旋、賃貸管理業、不動産コンサルティング事業と、幅広く事業を展開しております。売買、賃貸、賃借といったすべてのお取引において、お客様のお役に立てるよう努めております。また、不動産事業者として地域の皆様の暮らしや住みよいまちづくりも重要な仕事であると考え、事業に取り組んでおります。

現在は、当会OBである代表取締役の土岐を含め7名の社員で一丸となり、業務にあたっております。地域の皆様にとって住みよい住環境を提供できるよう、今後もより一層心をこめて業務に取り組んでまいります。不動産についてのお困りごととはぜひ私たち西米商事にご相談下さい。

政治・ビジネス委員会
奥野 瑞基(シンセイ技研株式会社)

当社は1988年に島根電工株式会社から分社独立し、給排水衛生設備・空調設備等の工事を通して地域の発展に貢献して参りました。近年では公共工事だけでなく、人に密着した住まいと暮らしの向上に力を注ぎ、「住まいのおたすけ隊」として水廻りの修理からリフォームまで住宅においても幅広く対応させていただいております。

私の所属する米子営業所は6年前に日ノ出町から両三柳へ移転新築し、従業員も新築当時から8人増員し現在20人となりました。

増員によって緊急的な修理や対応できる件数も増えたため、米子市内においてもシンセイ技研の名前をご存じの方も増えたのではないかと思いますところ

です。

設備工事に求められるものは日々高度化・多様化しておりますが、常に新しい技術を追求しお客様に合った提案が出来るよう精進しております。

水廻り等お困りの際はお声がけ戴けますと幸いです。

みんなで待っていた赤ちゃん
こんにちは赤ちゃん

敬愛委員会
田本 真大(山陰酸素工業株式会社)

1月12日に第3子となる元気な男の子が産まれました。桜都(おと)と名付けた次男坊はお姉ちゃんとお兄ちゃんにも可愛がられ健やかに大きく育ってくれています。これからも3人の父として、社業また中央会活動に邁進してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

敬愛委員会
大谷 健太(株式会社西米商事)

3月15日に第一子となる3840gの大きく元気な男の子が産まれてきました。守るべき家族が一人増え、気の引き締まる思いです。

大切な家族の為に、一層精進いたしますので今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。




編集後記

4月から上の子が幼稚園に入園しました。幼稚園と保育園の二か所のお迎えが毎日のルーティーン。中央会活動で寂しい思いをさせないよう、この当たり前を当たり前につけていける幸せを日々噛み締めています。

(記事:松原)